

# 養 氣 軒

ようきけん



vol.66  
2019 Spring

病む人のために病む人の望む安心・安全な医療を提供します。

●ようきけんとは  
「病む人の病のみならず心をも癒すことの  
出来る」という意味です。



## Hospital director greetings

### 病院長挨拶

長崎川棚医療センター 病院長

藤岡 ひかる

Hikaru Fujioka



長崎川棚医療センターは、長崎県東彼杵郡川棚町の国道205号線沿いに位置する285床の国立病院機構の病院です。2009年に長崎神経医療センターから長崎川棚医療センターに改称し、地域医療支援病院として地域に根差した医療を行っています。

内科（神経内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科）、外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、小児科（外来のみ）、放射線科、泌尿器科を中心に診療にあたっております。

種々の急性期・慢性期疾患に対する診療を行っていますが、難治性神経・筋疾患（神経難病と筋ジストロフィーなど）、脳梗塞・脳出血等の脳血管障害においても地域の中核となっている専門的医療施設です。地域の医療機関との病診連携、長崎医療センター、嬉野医療センター等との病病連携を行い、地域医療のニーズに応えるべく職員一同頑張っております。

また、『地域医療支援病院』として、患者さんが安心して医療が受けられるよう、地域の「かかりつけ医」の皆さんと、医療機能や役割を分担・連携し、必要に応じて専門的医療、救急医療を提供してまいります。

地域の医師の皆さんに対しても、病院施設の開放や医療機器等の共同利用、研修会等を行います。

高齢化社会に突入し、高齢の患者さんは増える一方です。支えるご家族の生活面での問題も多岐にわたり、地域医療問題は社会問題でもあります。

地域の方々との緊密な協働を行い、地域包括医療や在宅医療の充実にも尽力いたします。

地域連携を強固にして、急性・慢性期医療、神経・筋難病および脳血管障害の専門的治療、地域包括医療、在宅医療等に、より一層尽力してまいります。

これからも地域に根ざし、信頼関係を大切にして安全・安心な医療を提供してまいります。

東彼地区にあって「地域に必要な病院」として、あたたかく質の高い病院をめざし、地域の皆さんに選ばれ、安心していただける病院を目指し職員一同頑張っております。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。☑

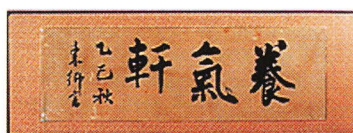
## CONTENTS

日本医療マネジメント学会 第19回長崎支部学術集会  
認定輸血検査技師の資格を取得しました。

あじさいネット（長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会）のご紹介

5階病棟 部署紹介

外来診療日一覧



「養氣軒」東郷元帥直筆（1905年）



# 「日本医療マネジメント学会 第19回長崎支部学術集会」に参加して

副看護師長 **松尾 賢史**

平成31年2月16日(土)、ながさき看護センター(諫早市)で開催された「日本医療マネジメント学会第19回長崎支部学術集会」で、「手術看護師による術後搬送のスタッフに対する影響」という演題で発表させて頂きました。

従来、当院は術後患者の搬送のため病棟看護師2名が手術室に出向き、乗換ホールで送り後に搬送を行っていましたが、昨年5月より手術室看護師と医師で術後搬送を担う方法に変更し、病室到着後、モニター装着や創部観察を病棟看護師と共に、ベッドサイドで申し送りを行うようにしました。

その方法について質的研究を行い、手術室看護師、病棟看護師双方に業務面、コミュニケーション面に対して良い影響があり、周術期を担う部署同士、連帯感が増していると、結論づけることができました。

発表の際には座長より高評価の言葉もいただき、当院では継続してこの取り組みを実践できております。発表の機会を下さり、誠にありがとうございました。



副看護師長 **富澤 めぐみ**

2月16日諫早市で開催された学会に参加しました。私は「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌患者アウトブレイクを経験して～長崎大学感染制御チームへ介入を依頼した結果と改善内容について～」の演題で発表しました。

専門チームと感染対策について検討し、改善までの過程を写真を用いて報告しました。参加者からは「専門チーム介入後、手指消毒の効果は上昇していますか、看護師へ手指消毒を観察しているチェック表を提示していますか」と質問があり、当院の感染対策に興味深く聞いてくださいました。

この発表が他施設でも感染対策を考えるきっかけとなった印象を感じ、感染管理認定看護師として情報伝達する重要性を感じました。

今回の学会に参加して、多くの職種の方が、医療現場で直面する問題解決に向けて、日々奮闘している姿を感じることが出来ました。院外での発表はとても緊張しましたが、聞きながら聞いてくれる方の視線を感じ、落ち着いて話すことができました。

## Topics 【トピックス】

# 認定輸血検査技師の資格を取得しました。

臨床検査技師 **室内 舞子**

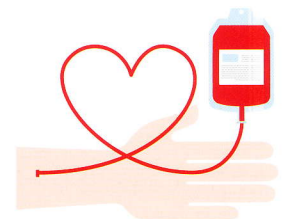
認定輸血検査技師とは、日本輸血・細胞治療学会が認定する輸血分野に関して高い専門性を有することを証明するための資格です。

輸血は移植の一種と考えられているように、種々の副作用・合併症を伴い易く、輸血治療を行うには深い知識、的確な判断力と技術が要求されます。輸血の安全性の向上に寄与することのできる技師の育成を目的として、平成7年からこの制度が導入されました。

現在、輸血検査部門では、貧血や出血、あるいは手術時などで輸血が必要になった患者さんに対して安全で適性

な輸血医療が行われるよう各診療科を支援しています。

献血された血液は、血液センターにより安全性が確保されていますが、医療機関での取り扱いが適切でなければ、患者さんに負担がかかるだけでなく副作用のリスクもあります。このようなリスクを無くすため、今後も医師や看護師と協力してより安全な輸血医療を行い、血液製剤の適正使用に努めたいと思います。



# あじさいネット(長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会)のご紹介

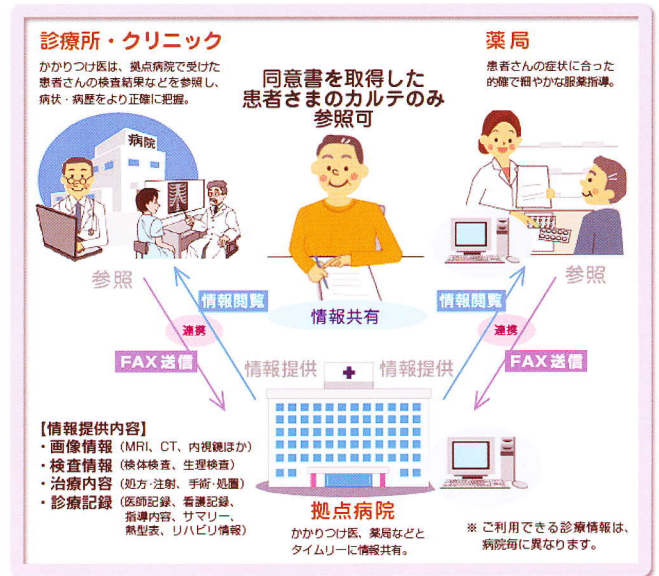
地域医療支援センター 小井 龍一郎

長崎川棚医療センターでも導入されている「あじさいネット」をご紹介します。

「あじさいネット」は、高度なセキュリティで守られている長崎県内の医療機関をつなぐ地域医療連携専用のネットワークです。拠点病院での診療情報(電子カルテ・検査結果・画像等)を、他の医療機関でも活用できるようになっています。2004年にスタートし今年で15年目となります。情報提供病院(拠点病院)は37施設、情報閲覧施設は340施設、全登録者数は90000人を超えています。

拠点病院での診察や検査・処方などの情報を、いつも利用している医院・薬局・訪問看護ステーション等で共有することで、治療内容・服薬・検査画像・検査結果等について、かかりつけ医院やかかりつけ薬局でも説明を受けることができ、適切な診療・治療、サービスの提供が可能となります。紙ベースでの情報のやりとりよりも、より多くの正確な情報を閲覧することができ、検査や処方の重複などを防ぐメリットもあります。

あじさいネットの利用・登録に関しては、情報閲覧施設であるかかりつけ診療所や薬局などで、当院のカルテを参考にしたい場合は患者さんにあじさいネットの説明を行います。患者さんが納得したら、あじさいネット同意書



に署名をし、署名済の同意書は情報提供病院にFAX送信され、すぐに情報開示の設定作業を行い、設定が終わるとあじさいネットに接続したパソコンで診療情報が見られるようになります。情報提供を中止したい場合は撤回届を出していただくことでいつでも中止できます。

利用・登録に関しましてはかかりつけの先生へご相談ください。

## 部署紹介(5階病棟)

5階病棟は、主にパーキンソン病や、筋委縮性側索硬化症などの神経内科疾患の患者さんが多く入院されている病棟です。疾患の診断の為の検査や、点滴や内服を使用した薬剤治療、リハビリなどが主に行われています。長期にわたる自宅での介護が必要な療養生活を強いられる患者さん、一時的な入院を行うレスパイト入院も行っています。

患者さんの病状、日常生活動作の状況、ご家族の支援体制を主治医、MSW(医療ソーシャルワーカー)、リハビリスタッフ、薬剤師、そして看護師が相談しながら治療後の在宅復帰や、後方支援施設への転院など、患者さんの退院後の生活についても相談、調整を行わせて頂いています。

看護師は入院生活の援助や、精神支援を中心に長期に治療、療養が必要となる患者さん、御家族に少しでも寄り添う看護ができるように頑張っています。



# 外来診療日一覧表

令和元年 5月1日現在



午前 <small>の部</small>		月	火	水	木	金
総合救急	内科	松屋 合歓	松屋 合歓	二宮 暁代	木村 博典	松本 章子
	外科	戸田 啓介	寺田 隆介	戸田 啓介 野田 満	寺田 隆介 宮下 光世	寺田 隆介
神経内科	新患	成田 智子		富田 祐輝	福留 隆泰	
	再来	福留 隆泰	成田 智子	成田 智子	富田 祐輝	福留 隆泰 松尾 秀徳(長崎病院)
代謝内科	新患 再来		木村 博典	木村 博典		
循環器内科	新患	二宮 暁代				二宮 暁代
	再来	二宮 暁代			二宮 暁代	二宮 暁代
消化器内科	新患		植木 俊仁	松本 章子		
	再来	松本 章子			植木 俊仁	
外科 新患 10:00~10:30	新患・再来	寺田 隆介	藤岡ひかる	宮下 光世	寺田 隆介	宮下 光世
整形外科	新患・再来	藤本 勝也	藤本 勝也	藤本 勝也	藤本 勝也	藤本 勝也
		小林 恭介(長崎大学)		野村賢太郎(長崎大学)		
脳神経外科	新患・再来 脳ドック	野田 満	野田 満	戸田 啓介		戸田 啓介
皮膚科	新患・再来		清原 龍士		清原 龍士	清原 龍士
泌尿器科	新患・再来	応援医師(佐賀大学)		応援医師(佐賀大学)		
小児科	新患・再来	小森 一広	小森 一広	小森 一広	小森 一広	小森 一広
内視鏡	9:00~	植木 俊仁	松本 章子	植木 俊仁	松本 章子	植木 俊仁
ドック・健康診断					松屋 合歓	

午後 <small>の部</small>		月	火	水	木	金
総合救急	内科	富田 祐輝	福留 隆泰	小森 一広 富田 祐輝	植木 俊仁	小森・植木 松本・木村
	外科	戸田 啓介	戸田 啓介	野田 満	寺田 隆介	野田 満
皮膚科	新患・再来			清原 龍士		
小児科	新患・再来	小森 一広		小森 一広	小森 一広	小森 一広
特殊外来(要予約)		[ペースメーカー] 二宮 暁代 14:00~16:00 [小児科予防接種] 小森 一広 13:00~16:00	[乳腺専門] 毎月第4火曜日 13:00~17:15			

※外科の新患外来は10時~10時30分で診療しています。

- 1 外来受付時間は、午前8時30分~11時です。
- 2 糖尿病教室は第1、2、3水曜日14時~15時に整形外科外来にて開催しています。
- 3 土曜日・日曜日・祭日・年末年始(12/29~1/3)は休診です。
- 4 セカンドオピニオン外来を実施しています。
- 5 健康診断は完全予約制となっています。事前にご連絡を下さい。
- 6 救急の場合は、休診日でも診療いたします。
- 7 小児科予防接種は完全予約制です。事前に連絡をお願いします。

独立行政法人 国立病院機構  

**長崎川棚医療センター**  
 (西九州脳神経センター)  
 〒859-3615 長崎県東彼杵郡川棚町下組郷2005-1  
**TEL 0956-82-3121 FAX 0956-83-3710**  
**連携室FAX 0956-82-2280 0120-82-2970**

## 編集後記

前副臨床検査技師長 平井 久己

インフルエンザ感染もやっと終息状況に向かい、県内のインフルエンザ流行警報も解除されました。当院の検査件数も1月246件→2月146件→3月39件(3月8日現在)と減少していますが、まだまだ陽性の患者さんもいらっしゃいます。十分な注意をお願いします。本号で紹介している臨床検査技師輸血認定試験とは、日本輸

血・細胞学会が認定する資格で、臨床検査技師の認定資格の中でも難関の部門です。当院では他にも超音波検査・一般検査などの認定資格を持った技師が、精確で迅速な検査を行うため日々精進しています。